



寒くなってきました。でも、夜空はきれいですね。
暖かくしておいでください。

12/11(木) 里山の保全と再生シリーズ
18:30~ 第6回

「ESDと里山での自然体験」

お 話：青山範子さん
(EPOちゅうごくチーフコーディネーター)
ところ：まちなか環境学習館
参加費：200円(ただし100エコハ進呈)

このほど ESD ユネスコ世界会議が名古屋と岡山で開かれ、子どもたちの「生きる力」を育み、持続可能な社会をつくるための教育 ESD が求められています。関連して、これまで子ども達の体験的環境学習に関わってこられた経験をもとに、ESDと環境教育の関係や、自然が「生きる力」を育てるのに大きな役割を果たしていることについて話していただきます。

12月の環境サロン

環境サロンは、身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に学びあえる場、語りあえる場です。一度だけのご参加も歓迎です。
問合せ…0836-39-8110(銀天エコプラザ)

12/17(水) 低炭素のまちづくりシリーズ
18:30~20:30 第7回

「低炭素のまちづくりを どう進めるか」

お 話：鈴木春菜さん
(山口大学 大学院理工学研究科 准教授)
ところ：まちなか環境学習館
参加費：200円(ただし100エコハ進呈)

省エネ・低炭素型のまちづくりの重要性は理解できても、社会の合意が得られ、人々の実際の行動に結びつかなければ、なかなか現状を変えることはできません。
まちづくりの事例を通して、交通政策や社会心理学的な立場から、問題提起をいただき、みんなで議論を深めたいと思います。

第14回まちなかエコ市場が行われました
(2014年11月22日開催)
次回は3月の予定です。お楽しみに。



まちなか銀天おそうじ隊 募集!

「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードなどを掃除しています。メンバーはその日集まってくださった方。楽しくおしゃべりしながら、「まち」をちょっときれいにしませんか?
次回は **12月28日(日)** 15時から。
まちなか環境学習館前に集合です。

おそうじ隊参加者には、
環境地域通貨「エコハ券」
2枚進呈!

宇部市まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」には、環境関連図書もある無料の学習室(無料)や、使いやすい料金のミーティングルーム(大・小)がございます。
お気軽にご利用、ご見学、お問合せください。

ただいま
エコプラザ前広場は
イルミネーションが
とてもきれいです。
夕暮れからのお散歩にも!

宇部市環境学習ポータルサイト
「うべっくる」

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

facebook や Twitter へもこちらからアクセスできます。



うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお寄せください。ポータルサイト内の問い合わせ欄やブログ、フェイスブックのコメント欄もご利用ください。

二俣瀬商興会

会長 吉岡里士
〒759-0134 宇部市善和 345-1
(有)善和産業内 TEL 090-3374-3113

発足 昭和41年4月 12名 発起人 天重英雄
事業 平成8年2月 継続事業として校区内に毎年桜の苗木を植樹し校区を桜の名所とする。桜づつみ公園に40本植樹、以後校区内に毎年10~30本提供植樹。
又、年2回(6月、10月)に草刈清掃を行っています。
平成9年4月 二俣瀬商興会30周年式典挙行
平成13年4月 里山ビオトープ二俣瀬へ直径5mの水車を設置寄贈
平成23年3月 桜づつみ公園に夜桜花見用照明を設置寄贈

桜づつみ公園清掃草刈作業協力団体名

校区コミュニティ・中国電力・吉南運輸・自治会連合会・環衛連・
昭和会 IN 二俣瀬・消防団・二俣瀬交通安全協会



今回10月19日(日)実施
参加者46名でした。

〈環境歳時記〉

12月1日 (1997年)
京都議定書採択

昨今の集中豪雨による被害、そして海面上昇によって頻発する高潮、またかつては外国のニュースでしか見る事のなかった竜巻の国内での頻発など、今、異常気象が私たちの身近に感じられるようになってきた。

これは地球の温暖化現象の一つで、19世紀に始まる産業革命で石炭を大量に消費することから顕在化した。そして次の20世紀ではそれに加えて石油の消費が加わり、それらの消費で大量のCO2ガスが大気中に放出された事により地球の温暖化の大きな要因となってきた。大量消費は当初主に先進国で見られた現象だったが、その後発展途上国の経済発展で消費が増加する事でますます助長されることとなった。

最近の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告書では、大気中のCO2濃度は現在約400ppmで、産業革命以前と比べると40%も増加している。この温暖化は人間の影響の可能性が極めて高く、対策を行わないと21世紀末の気温上昇を、次のよ

うに予測している。温暖化対策(CO2削減等)を最大限実施した場合:2.6~4.8℃上昇すると予測している。

そのような中、国連を中心に国際的な対策も試みられてきた。その一歩が1992年リオ・デ・ジャネイロで開かれた環境と開発に関する国際連合会議(UNCED、地球サミット)で採択された気候変動枠組条約である。

そしてこの条約の実効性を持たせるため開催されたのが、1997年12月に京都で開かれた第3回締約国会議(COP3)である。深刻な温暖化対策として初めて具体的な数値をもって削減を約束した画期的な取り組みだった。

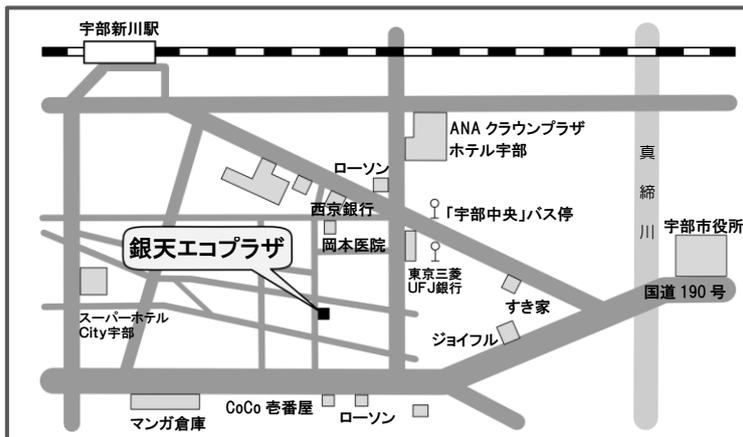
そこで採択された議定書には二酸化炭素、メタン、亜酸化窒素、代替フロン(HFC(ハイドロフルオロカーボン)、PFC(パーフルオロカーボン)、六フッ化硫黄)の6種類の温室効果ガスの排出を、2008年から12年の間に先進国全体で5.2%削減することが決められた。国ごとに削減率は異なり、日本6%、米国7%、EU8%、などである。

そして達成のために京都メカニズムと呼ばれる排出量を売買する排出量(権)取引、国外で対策をとった削減分を自国分にカウントできるクリーン開発メカニズム、共同実施、森林の二酸化炭素吸収をカウントする吸収源、順守制

度などが盛り込まれた。これ以降は、京都議定書の運用事項について細かい部分まで協議が進められ、2001年11月のCOP7で、最終的な合意(マラケシュ合意)に至った。しかしその過程では各国の国益などが絡み順調にはいかず、2001年3月にアメリカのブッシュ政権が離脱を表明した。そしてロシアが2004年11月に批准したことで2005年2月に議定書は発効した。しかし、2011年にはカナダが京都議定書から正式に脱退すると表明するなど前途多難である。

2012年に開催されたCOP18(カタール・ドーハ)では、第二約束期間を2013年から2020年までとし、この期間に参加する予定の国の削減目標を定める京都議定書改正案が正式に採択された。しかし日本はこの第二約束期間の枠組みには入らずカンクン合意に基づいて自主的削減努力という一歩後退した取り組みになっている。来年2015年には2020年以降はすべての国が参加する枠組みを作るとの目標が掲げられている。しかしこれが成功するかどうかは排出量が全体の4割を超える主要排出国である中国、アメリカの取組み次第である。

(館長 西村誠)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号
交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分
宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分
駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)
TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com
開館時間 9時~21時
休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)